

平成19年度実績評価書要旨

担当部局名：

健康局総務課生活習慣病対策室

評価実施時期：平成 19年 8月

<p>施策名</p>	<p>生活習慣の改善等により健康寿命の延伸等を図ること</p> <p>(I-12-2)</p>	<p>政策体系上の位置付け</p> <p>基本目標 I 安心・信頼してかかれる医療の確保と国民の健康づくりを推進すること</p> <p>施策目標 1 2 妊産婦・児童から高齢者に至るまでの幅広い年齢層において、地域・職場などの様々な場所で、国民的な健康づくりを推進すること</p>																																					
<p>施策の概要</p>	<p>すべての国民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会とするために、健康に関連する全ての関係機関・団体等を始めとして、国民が一体となった健康づくり運動を総合的かつ効果的に推進し、国民各層の自由な意志決定に基づく健康づくりに関する意識の向上及び取組を促そうとするものである。</p>																																						
<p>施策に関する評価結果の概要と達成すべき目標等</p>	<p>【評価結果の概要】 (施策目標の評価)</p> <p>平成19年4月に公表された「健康日本21中間評価報告書」(厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会)によると、健康づくりに関する各種の指標について数値目標を設定し、国民が一体となった健康づくり運動を推進する手法を導入したことや、都道府県や市町村において健康増進計画の策定が進んできたことにより、脂肪エネルギー比率や女性の肥満者の増加に歯止めがかかっている一方で、男性の肥満者の割合や日常生活における歩数のように、健康日本21策定時の値より改善していない項目や、悪化している項目が見られるなど、これまでの進捗状況は全体としては必ずしも十分ではない点が見られると評価できる。</p> <p>このことから、今後は、同報告書を踏まえ、平成20年度からの健やか生活習慣国民運動(仮称)の展開や医療保険者によるメタボリックシンドロームに着目した特定健診・特定保健指導の実施に向け、予算の見直しも含め検討し、国民の健康づくりに対する意識の高まりを、具体的な行動変容に結びつけるための施策を進めていく必要がある。</p> <p>(評価結果の分類)</p> <p>施策目標の達成に向けた見直しを検討する(予算の見直しの検討)</p> <p>※平成20年度からの健やか生活習慣国民運動(仮称)の展開や医療保険者によるメタボリックシンドロームに着目した特定健診・特定保健指導の実施に向け、予算の見直しを検討</p> <p>【達成すべき目標、測定指標、目標期間、測定結果 等】</p> <table border="1" data-bbox="427 1368 1302 1977"> <thead> <tr> <th colspan="2">施策目標に係る指標 (達成水準/達成時期)</th> <th>H14</th> <th>H15</th> <th>H16</th> <th>H17</th> <th>H18</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1</td> <td>メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者・予備群の減少率(40~74歳)(単位:%)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>男性 (10%/平成24年度)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1,400万人*</td> <td>1,350万人*</td> <td>集計中</td> </tr> <tr> <td></td> <td>女性 (10%/平成24年度)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>560万人*</td> <td>550万人*</td> <td>集計中</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>糖尿病有病者数(単位:万人) (1000万人/平成22年度)</td> <td>740</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(調査名・資料出所、備考)</p> <ul style="list-style-type: none"> 指標1は、国民健康・栄養調査(健康局総務課生活習慣病対策室調べ)による。平成18年度の数値は現在集計中であり、平成20年5月頃に公表予定である。 メタボリックシンドロームの該当者・予備群は平成16年より調査。 <p>*参考値 本指標の対象者数は、平成20年度から新たに実施される特定健康診査により把握が可能となり、平成24年度に平成20年度比で10%の減少を目標としている(健康日本21の指標を引用)。平成16~19年度の数値は、国民健康・栄養調査による推計値のため参考値扱いとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 指標2は、糖尿病実態調査(健康局総務課生活習慣病対策室調べ)による。5年毎の調査のため、平成14年のみ把握可能。 <p>(参考・健康日本21策定時の値) 指標2 平成9年度 690万人</p>					施策目標に係る指標 (達成水準/達成時期)		H14	H15	H16	H17	H18	1	メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者・予備群の減少率(40~74歳)(単位:%)						男性 (10%/平成24年度)	—	—	1,400万人*	1,350万人*	集計中		女性 (10%/平成24年度)	—	—	560万人*	550万人*	集計中	2	糖尿病有病者数(単位:万人) (1000万人/平成22年度)	740	—	—	—	
施策目標に係る指標 (達成水準/達成時期)		H14	H15	H16	H17	H18																																	
1	メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者・予備群の減少率(40~74歳)(単位:%)																																						
	男性 (10%/平成24年度)	—	—	1,400万人*	1,350万人*	集計中																																	
	女性 (10%/平成24年度)	—	—	560万人*	550万人*	集計中																																	
2	糖尿病有病者数(単位:万人) (1000万人/平成22年度)	740	—	—	—																																		
<p>関係する施政方針演説等内閣の重要政策(主なもの)</p>	<p>施政方針演説等</p>	<p>年月日</p>	<p>記載事項(抜粋)</p>																																				